婚姻届の書き方と注意

字体を崩さず、丁寧に記入してください

黒インク又は黒ボールペンで書いてください
消せるボールペンでは書かないでください

- 持参するもの
 - 婚姻届書 1通
 - 届出書を持参する方の顔写真のある官公署発行の身分証明書（マイナンバーカード、運転免許証、パスポート等）
- 住所を変更される方は住民異動届（転入届・転居届）をしてください。
 - 他市区町村から転入される方は、転出証明書を添付してください。
- 届出人は夫妻双方です。
 - 届出人の作成した届書を持参する方は、ご家族でもかまいませんが、訂正の必要が生じた場合は届出人に、ご来庁いただくことがあります。

※一方が外国人または外国人同士の場合は記載が異なります。

詳しくは下記問合せ先へおたずねください。

〒939-1398
富山県砺波市栄町7番3号
砺波市役所 市民課 市民係
電話 0763-33-1358

婚姻届

令和〇年〇月〇日届出

富山県砺波市長 殿

		夫になる人		妻になる人	
(フリガナ)		コウノ ユキオ		オツカワ フクコ	
氏名		甲野 幸男		乙川 福子	
生年月日		平成3年6月20日		平成5年3月3日	
(1)	住所	〇〇県 〇〇市 太郎丸 4丁目2番1号 〇〇ハイツ102号室		〇〇県 〇〇市 〇〇町 1丁目2番1号	
	〔住所登録をしているところ〕				
(2)	本籍	〇〇県 〇〇市 〇〇町 若葉 121 番地 番		〇〇県 〇〇市 〇〇町 三丁目 100 番地 番	
	〔外国人のときは国籍だけを書いてください〕	筆頭者の氏名	甲野 太郎	筆頭者の氏名	乙川 和男
(3)	父母及び養父母の氏名 父母との続柄	父 甲野 太郎 母 甲野 良子	続柄 長男	父 乙川 和男 母 乙川 恵子	続柄 二女
	〔右記の養父母以外にも養父母がいる場合にはその他の欄に書いてください〕	養父 養母	続柄 養子	養父 養母	続柄 養女
(4)	婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	☒ 夫の氏 ☐ 妻の氏 〇〇県 〇〇市 〇〇町 若葉 121 番地 1 番			
(5)	同居を始めたとき	年 月		〔結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください〕	
(6)	初婚・再婚の別	夫 ☒ 初婚 ☐ 再婚〔 ☐ 死別 ☐ 離別〕 年 月 日	妻 ☒ 初婚 ☐ 再婚〔 ☐ 死別 ☐ 離別〕 年 月 日		
(7)	同居を始める前の夫婦のそれぞれの世帯のおもな仕事と	☐ 夫 ☐ 妻 ☐ 夫 ☐ 妻 ☒ 夫 ☐ 妻 ☐ 夫 ☒ 妻 ☐ 夫 ☐ 妻 ☐ 夫 ☐ 妻			
		1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 4. 3にあってはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 5. 1から4にあってはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 6. 仕事をしている者のいない世帯			
(8)	夫婦の職業	(国勢調査の年... 年の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください) 夫の職業 妻の職業			
	その他				
	届出人署名(※押印は任意)	夫 甲野 幸男 印	妻 乙川 福子 印		
		電話 090 (XXXX) XXXX 自宅・勤務先[]〔携帯〕			

戸籍の記載どおりの字体で書いてください。

婚姻届と同時に住所を移す場合は、新住所を書いてください。アパート名等がある場合は併せて書いてください。

戸籍の記載どおり書いてください。

外国籍の方は国籍だけ書いてください。

養父母がいる場合は、養父母の氏名を書いてください。

夫婦は同一の氏を称することになります。夫か妻の氏いづれかを選んでください。氏を称する人が筆頭者でない場合は、夫婦について新しい戸籍が作られます。

結婚式も同居もまだの場合は何も記載しないでください。

同居前の夫婦の世帯の仕事を選んで該当する箇所に✓してください。

国勢調査の年のみ書いてください。

婚姻前の氏名で必ず本人が自署してください。

日中連絡のとれる電話番号を必ず書いてください。

		証人	
署名(※押印は任意)	丙山 良雄 印	己川 菊夫 印	
生年月日	昭和37年1月15日	昭和30年4月20日	
住所	〇〇県 〇〇市 中央 2丁目5番18号	〇〇県 〇〇市 〇〇町 100番地 〇〇マンション111号室	
本籍	〇〇県 〇〇市 深川 132 番地 番	〇〇県 〇〇郡 〇〇町 新和 123 番地 番	

2人以上の成年の証人が必要です。必ず証人本人が自署してください。